

各 位

2022年5月19日

SBIホールディングス株式会社

シンガポールの NTUitive、韓国の教保生命グループとの  
デジタルプラットフォーム関連企業に投資する共同ベンチャーファンド設立のお知らせ

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：北尾 吉孝、以下「当社」）はこのたび、シンガポールの南洋理工大学の産学連携を加速する子会社であるNTUitive（本社：シンガポール、代表取締役社長：David Toh）および韓国の教保（キョウボ）生命グループ傘下の証券会社である教保証券株式会社（本社：ソウル市、共同代表取締役社長：Bong-kwon Park、Seok-ki Lee）と共に、東南アジアと南アジア地域を中心にデジタルプラットフォーム関連企業に投資する共同ベンチャーファンド（以下「本ファンド」）をシンガポールにて設立いたしましたので、お知らせいたします。

東南アジアは、中間所得層の拡大やモバイル経済の発展により、各分野でのデジタル化が急速に進んでおり、米調査会社Meticulous Research（メティキュラス・リサーチ）のレポートによると2030年までにデジタル技術やデジタルプラットフォームが与える影響として、2,200億～6,250億米ドルの経済効果の実現を予測しています。

シンガポールにて組成された本ファンドは、最大75百万米ドルまで資金を調達し、東南アジアと南アジアにて、デジタル技術およびデジタルプラットフォーム関連分野のアーリーステージ企業に投資いたします。また、本ファンドでは当社、NTUitive、教保証券の各社が培ってきた事業運営に関する知見や、地域に根ざしたエコシステムを通じて、デジタル化された取引データを用いた収益化の支援など、投資先のデジタル・トランスフォーメーションへの取り組みを後押しする予定です。尚、本ファンドは当社の子会社であるSBI Ven Capital Pte. Ltd.（本社：シンガポール、代表：林 良輔）が運用いたします。

以上

◆SBIグループについて

1999年創業のSBIグループは、日本におけるインターネット金融サービスのパイオニアとして、証券、銀行、保険分野を中心にインターネットを通じてより低価格で利便性の高い商品やサービスを提供する金融サービス事業を運営しているほか、アセットマネジメント事業、バイオ・ヘルスケア&メディカルインフォマティクス事業をグローバルに展開するインターネット総合金融グループです。

アセットマネジメント事業においては、Tokopedia、NIUMなどアジアの急成長している新興企業に投資実績を持つほか、2021年12月末時点で6,539億円の投資残高を保有し、アジアの金融およびテ

テクノロジー業界のスタートアップ企業の成長と成功を支援してきた実績があります。子会社であるSBI Ven Capitalは、シンガポール金融当局（Monetary Authority of Singapore）より認可を受けた資産管理会社として、2007年の設立以降、主に東南アジアや南アジアの企業への投資を実施し、2020年12月末現在で5.9億米ドルの資産を運用しております。

◆南洋理工大学およびNTUitiveについて

南洋理工大学は1993年創立のシンガポールの主要国立大学の一つで、2022年版QSアジア大学ランキングで第3位となっています。子会社であるNTUitiveは産学連携を加速するために設立され、自社イノベーションプログラムを通じて、先端技術に関する研究シーズを事業化することを強みとしています。

◆教保生命グループについて

教保生命グループは1958年創業の韓国有数の生命保険グループであり、傘下の教保証券は2002年より韓国取引所のKOSPI市場に上場しています。

\*\*\*\*\*

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126